

ひなどり

園だより 5月号 令和5年5月9日 新潟市立新津第三幼稚園

「世界を広げて」

園長 川合 千尋

さわやかな風が吹くよい季節になりました。自然の中に行くには、とてもいい季節ですね。昨年の山登りのお話をしましたが、自然の中を散策するだけで気持ちのよいものです。自然の中を歩くだけで、いろいろなものを見つけることができます。脇道に咲いている小さな花や飛んでくるチョウチョウやさえずっている小鳥の鳴き声、そうしたものに気付くだけで、気持ちが癒やされています。

4月のお誕生会でお話をした、ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリ、ナズナやウグイスやヒヨドリなどを見つけると季節を感じるとともに、ほっこりとした気分になります。でも、こんな気分になれるのは、そうした花や鳥の名前を知っているから何だろうなあと感じています。実際、知らない花や鳥を見ても同じようには感じられないのでしょう。そんな風に考えると、いろいろな生き物の名前を知っているというのは、自分の世界を広げ感動を広げてくれることになるのだと改めて実感します。

きっと、子どもたちも同じように名前を知ることで自分の世界を広げているのだろうな あと思います。ゲームのキャラクターの名前を覚えれば、その世界を広げ、乗り物の名前 を覚えれば、その世界を広げ、動物の名前を覚えればその世界を広げていきます。そして さらに、その世界での知らないものの名前を知りたくなって、その世界への関心も高まっ ていくのでしょう。

自然が大好きな私としては、子どもたちに身の回りの自然にたくさんの興味・関心を示してほしいと願っています。これからの季節園では外での活動が増えていきます。今月末に予定されている遠足も楽しみです。子どもたちの気持ちが、自然の草花や虫や鳥などに向くようにいろいろと働きかけてみたいと思っています。







